

山名・山域	大菩薩連邦周辺（柳沢峠～黒川鶏冠山～丸川峠～大菩薩峠登山口）
山行目的	夏山トレーニングと涼しさを求めて
山行期間	2016年5月16日（日帰り）
参加者	5名

ルート、コースタイム

16日 0900 柳沢峠—1020 六本木峠—1140 黒川鶏冠山（昼食休憩）—1240 六本木峠—1410 丸川峠—1530 林道
出会—1550 大菩薩峠登山口

山行記録（記録性を重視し、天候、コースの状況・特徴、注意点、必要になった用具など）

黒川鶏冠山は山梨県北東部に位置する標高1716mの山である。

日本百名山の1つ大菩薩の北部に位置しその山名のとおり鳥の鶏冠のように山頂部はきりたった岩峰となっている。また鶏冠山東には武田信玄の軍資金となった黒川金山跡がある。

夏山トレーニングと涼しい山歩きを求めて参加した。

JR塩山駅南口より落合行きバスに乗り、柳沢峠で下車。梅雨空でバス停の標高が1400mを超えているため、肌寒い。バス停の道路反対側の登山口から歩き始める。六本木峠まではアップダウンがなく、夏山トレーニングにならないと全員が感じた。

黒川金山への分岐点から登山らしく登りとなる。黒川山を過ぎ、鶏冠山直下は急峻な岩登りであえぎながら山頂へ到着。鶏冠山山頂はネコの額のように狭く、きりたった大岩の上に小さな鶏冠神社の祠がある。晴れていれば素晴らしい景観が楽しめただろうが、曇天で何も見えない。

ここで昼食をとり、元来た道を引き返す。途中から柳沢峠への道を分け、丸川峠を目指す。

登山道は一面に苔むした岩に囲まれ、神秘的な雰囲気のある道が続く。丸川峠を過ぎると急な下りが延々と続いた。約1時間半ほどで林道に出てさらに下ると大菩薩峠登山口へ到着。

茶店があり、甲州市名産の桃をいただく。よく冷えたずみずしい果肉はまさに美味であった。

今日は歩行時間約6時間、歩行距離は約18KL。結果的には夏山トレーニングになったか。

ここからすぐの大菩薩の湯で汗を流し、帰途についた。



